

明新館通信

第
8
号

山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
023-672-1700
平成20年10月23日(木)発行

五十嵐選手 国体 6位

先ごろ行われた大分国体の少年女子B100メートルに出場した1年4組の五十嵐理沙さんが、見事6位に入賞しました。現在ホーム改良中ながら、予選では自己ベストのタイムを出しました。決勝では走りが「空転」(本人談)してしまったようですが、確かな手ごたえをつかんだようです。今後とも活躍することを期待します。

いよいよ出願 大学入試センター試験

平成21年1月17日(土)~18日(日)に行われます大学入試センター試験に、今年度は**125名**(普通科111名、専門学科14名)が出願しました。昨年度が98名、一昨年度が74名でありましたので、大幅な人数増になります。なお、一般受験を目指す生徒のために、3学年の先生を中心にして放課後に講習を2時間実施するなど、教科の指導を強化しておりますが、なんと言っても受験生本人の頑張りがすべてです。今が一番苦しい時です。全員希望通り合格できることを期待しています。

また、現在、全職員を挙げて推薦入試に向かう生徒の面接指導・作文指導・小論文指導・口頭試問の指導も行っています。176名(センター試験の受験生も一部入っています)が対象です。同時に、就職試験の受験生に対する指導も行っています。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

日韓国際サミットで実行委員長賞受賞 写真・科学部

10月3日(金)山形市の遊学館で開催された日韓国際梅花藻サミットにおいて、本校の写真・科学部の大風真希さん・佐藤美鈴さんが「山形市のバイカモの生態について」研究発表し、見事「実行委員長賞」を受賞しました。研究内容については以下の山形新聞の記事を参考にしてください。

冷水を好むと言われるバイカモが、夏に高温となる山形市内で自生していることに疑問を持ち、バイカモの温度耐性について調べた。研究発表では、バイカモが水温25度まで生息可能で、気温が33度でも堰の水温は25度以下だったことを報告。バイカモを守るためには、水温が上昇しないよう適度な水量が必要と指摘した。

また、読売新聞社**第52回日本学生科学賞**(山形県審査)において、**最優秀賞・**

優秀賞を受賞しました。

- 最優秀賞 「モリアオガエルの孵化酵素について」 **代表 片山晴子(3年6組)**
○優秀賞 「山形市のバイカモについて」 **代表 佐藤美鈴(2年1組)**

11月5日に県立博物館で表彰式が行われます。また、10月28日~11月5日まで同じく県立博物館に展示されます。なお、最優秀賞は、中央審査会に出品されます。

昨年度も、日本動物学会第78回学会大会・第51回日本学生科学賞においても、最優秀賞を初めとする数々の賞を戴いております。さらなる研究を期待しております。

食料生産科 アグリフェスタに参加

10月19日(日)10:00~15:00に、晴天に恵まれた山形県総合運動公園で行われました「アグリフェスタ」に本校代表として**伊藤美咲さん・黒田咲希さん・佐藤玲菜さん・鈴木彩侑加さん(1年7組)**が参加しました。缶詰・ジャム・野菜(きゅうり等)の販売を行い、またパネルによる学校紹介も行いました。大変好評を博しました。

体験入学に中学生446名参加

10月18日(土)の午後から行われました「平成20年度中学生体験入学」には最上郡から米沢市までの39の中学校から446名が参加しました。本校での生活や学科・コースのこと、また部活動の状況について説明を聞いた後、早速、国語・数学・英語・社会・理科・食料生産科の授業・情報経営科の授業に参加し、高校の授業の一端に触れました。その後、バレーボールやソフトボール部等の活動を見学しました。来春、意欲のある中学生が大勢本校に入学してくれることを願っています。



小野拓也君 800M 第5位

鳥取県で行われました日本ユース陸上競技選手権大会800メートルにおいて、小野君(2年3組)が決勝で**自己新**をマークし、4位と同タイムながら5位に入賞しました。来年度のインターハイ優勝に向けて更なる鍛錬を誓いました。

ソフトボール部 準優勝

第3回東北高等学校男子・女子ソフトボール選抜大会決勝で19日福島県の帝京安積高校に敗れましたが、準優勝に輝きました。雪辱を期待します。

今後の予定

- 11月 6日(木) ~ 7日(金) 生徒会リーダー研修会
- 19日(水) 第2回学校評議員会
- 19日(水) ~ 22日(土) 2年生修学旅行
- 25日(火) 2年生代休
- 29日(土) PTA役員レクリエーション大会 18時30分~ヤマコーボール